

1 青森プロボノチャレンジ趣旨

別紙

- ・ 2025年の超高齢化時代を見据えた「青森県型地域共生社会※」の実現のためには、NPO、地縁組織、企業などの多様な主体が連携、協働して、様々な地域の課題に自主的、自立的に取り組んでいくことが必要。
- ・ 一方、NPOをはじめとする地域サービスの実施主体には、スタッフの高齢化や担い手不足、資金の確保など運営面での課題を抱えているところも多い状況。
- ・ そのため、青森県では、企業活動による経験や知識等をボランティアとして提供し、NPO等の活動基盤の強化につなげる「プロボノ」の取組を県内に普及させていくため、本県初の取組となる「青森プロボノチャレンジ」を実施。

※県民の誰もが、地域で生まれ、地域で育ち、地域を助け、地域で安心して暮らしていくことができる社会



2 「プロボノ」とは？

- ・ 専門的なスキル・経験等をボランティアとして提供し、
- ・ 社会課題の解決に成果をもたらすこと

Pro	For	~のために
Bono	Good	善・いいこと
Publico	Public	公共的な

語源はラテン語のPro Bono Publico
(公共善のために) という言葉です

3 青森プロボノチャレンジの流れ

①プロボノワーカー募集・チーム編成 6月～8月

企業人等ボランティア（プロボノワーカー）の募集を行い、金融業、建設業、福祉サービス業、農業、自営業、自治体職員、子育て中の女性など様々な業種、年代、知識、経験を持った22名の皆様に参加いただきました。1チーム4～5名でチームを組み、ママボノ※チームなど計5チームを編成しました。

※ママボノとは、育休中や離職中の子育て女性によるプロボノのことです。



②事前オリエンテーション 9月7日(金)・8日(土)

チームメンバー（プロボノワーカー）初顔合わせの場。支援先団体の活動概要や課題、成果物への期待をチームで確認しました。



③キックオフミーティング 9月下旬～10月上旬

プロボノチームと支援先団体との初顔合わせの場。支援先団体への理解を深め、活動の目的と目標、成果提案ミーティングまでのスケジュールなどを確認しました。

④チームごとのプロボノ活動 9月下旬～10月下旬

活動現場訪問・ヒアリング・個別作業などチームごとに活動を行い、提案に向けた具体的な作業を行いました。



支援先にお伺いでのヒアリング



活動現場訪問



支援先とのミーティング



チームごとの個別作業

⑤チャレンジ本番～最終報告会について



成果提案ミーティング①

10月27日(土)9:30～15:00

プロボノチームから支援先団体に対して、成果物の最終提案、報告を行います。

場所は、支援先の事務所等となります。

*時間、場所は、各チームで異なります。また、ママボノチームは別日程(未定)で行います。



成果提案ミーティング②

10月27日(土)16:00～17:30

新町キューブ3階会議室

各プロボノチーム、支援先団体が集まり、各チームの取り組みについて報告し、成果等を共有します。

終了後は、任意参加による情報交換、交流会を行います。

資料写真提供: 認定NPO法人サービスグラント

4 青森プロボノチャレンジ支援先団体・内容

①特定非営利活動法人NPO法人ツル多はげます会(鶴田町:地域活性化)

【支援内容】全国大会告知のための特設サイト作成

ママボノチーム

②特定非営利活動法人子育てオーダーメイド・サポートこもも(青森市:子育て支援)

【支援内容】新規ヘルパー導入マニュアル作成

プロボノチーム

③特定非営利活動法人あおもりラジオくらぶ(青森市:地域の魅力等を伝える活動)

【支援内容】市民参加募集に向けたウェブコンテンツ作成

プロボノチーム

④CFS(慢性疲労症候群)支援ネットワーク(青森市:疾患に関する普及啓発)

【支援内容】クラウドツール活用

プロボノチーム

⑤特定非営利活動法人コミュサーあおもり(青森市:婚活・子育て支援)

【支援内容】イベント運営マニュアル作成

プロボノチーム
(県庁チーム)

